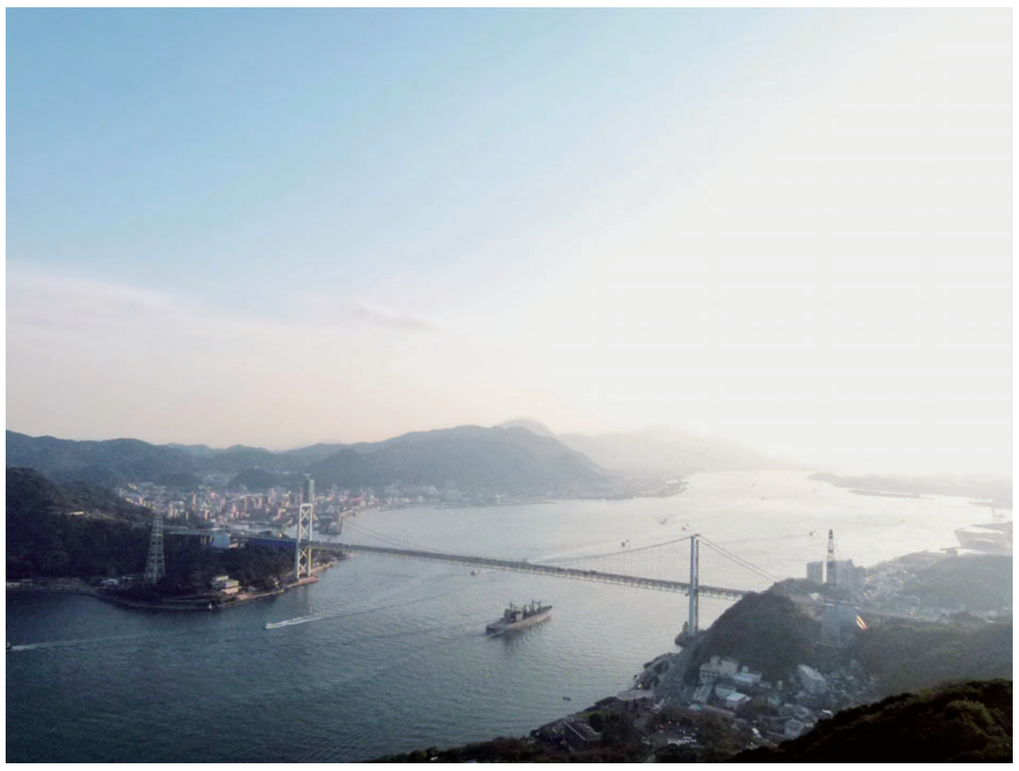
幕末維新１５０年に向けた取り組み

山口県下関市

山口県下関市の12年の観光の状況は、厳流島の決闘４００年とＮＨＫ大河ドラマ「平清盛」ゆかりの地として、順調に集客。また、角島観光に便利で、長門や萩方面の休憩ポイントとなる道の駅「北浦海道ほうほく」がオープンから5か月で、予想を大きく上回る来場者数28万人、売上４億円を記録した。今年からは長州藩出身の志士で、明治維新の前年に亡くなった維新の英雄のひとりである高杉晋作にスポットを当てた取り組みを没後１５０年である２０１７年に向けて山口県萩市と連携して実施。今年下関の新スポットや新しいイベントなどを紹介していく。


様々な歴史の舞台となった関門海峡

下関と萩が高杉晋作で連携 生誕から活躍の地をめぐる旅

高杉晋作で連携

明治維新中期の山口県萩市と下関市は、昨年10月29日に下関市役所で、高杉晋作没後１５０周年記念広域連携事業協定の調印式を行った。高杉晋作（１８３９～６７）は幕末期の討幕期の中心人物で、奇兵隊の創設者として知られる。今の萩市で生まれ、松陰に学び志を立てた後、下関市で活躍し亡くなっている。

両市では、幕末維新の歴史的な出来事が来年から１５０周年を迎えるのに合わせ、高杉晋作にスポットを当て、両市のゆかりの地などを共同で全国にＰＲしていく。

今年度中に官民共同で「萩・下関高杉晋作広域連携事業協議会」を設立する予定。ロゴマークやキャンペーングッズなどの制作を進めるほか、首都圏と関西圏で共同宣伝隊を派遣、大河ドラマなどの共同誘致活動や企画展や、講演会の実施、山口県や山口県観光連盟とも連携していく。

唐戸地区周辺のゆかりの地

さまざな歴史の舞台となったといわれる関門海峡は、高杉晋作ゆかりの地としては、坂本龍馬ファンからも人気が高い第二次長州征伐（慶応2年（１８６６））の地。高杉晋作の奇兵隊と坂本龍馬の海援隊が共同で幕府軍と戦い勝利した。この戦いが幕府の滅亡を決定づけたといわれる。

長州砲台跡（みもすそ川公園）

文久3年（１８６３）5月から6月にかけて、長州藩は関門海峡を通る外国船を5回にわたって砲撃。翌年8月、アメリカ、イギリス、フランス、オランダの四国連合艦隊に大敗し、すべての砲台が占領・破壊された。これをきっかけに長州藩は、開国・倒幕へと転換した。

下関のみもすそ川公園の人気観光メニューとなった「歴史体感☆紙芝居」に「風雲児高杉晋作」が登場。個性豊かな演者による臨場感あるパフォーマンスで歴史を楽しく学べる。

青春交響の搭

下関市唐戸あるかぽーとにある。高杉晋作と坂本龍馬の出会いを称えて建てられた。高杉晋作と龍馬のレリーフが入っている。また、高杉晋作像が日和山公園にある。

ＪＲ下関駅周辺のゆかりの地

下関駅前付近から徒歩約20分のところの下関市新地界隈に晋作ゆかりの地がある。

桜山神社

高杉晋作が自身より若く亡くなり、身寄りのいない奇兵隊士らのことを心配し建設した。東京招魂社（後の靖国神社）の母体になった。境内には桜山神社招魂場があり、吉田松陰、高杉晋作、久坂玄瑞、山縣有朋ら３９１柱の志士がここに祀られている。

高杉晋作終焉の地（下関市新地町）

新地の酒造家林家の離れを借り、晋作が移っていたが結核のためかぞえの29歳で亡くなった。

下関厳島神社

第二次長州征伐の戦争の終局となった小倉戦争で、戦利品として高杉晋作が小倉城から太鼓

吉田地区のゆかりの地

を持ち帰ったとされる。境内には、釣鐘のように奉納されている。

東行庵

東行庵は山口県下関市吉田にある曹洞宗の寺院で功山寺の末寺。慶応3年（１８６７）4月、高杉晋作の遺言により遺骸を奇兵隊の本拠に近いこの地に葬った。高杉晋作墓は国指定記念物（史跡）。元々は、山縣有朋が所有する無隣庵という庵。晋作に仕えていた愛人うの（後の谷梅処）が黒髪を断って出家したので、山縣が明治2年（１８６９）に欧州に旅立つ前に梅処に贈った。「東行」は晋作の号。現在の庵は明治17年に伊藤博文、山縣有朋、井上馨をはじめ全国の諸名士の寄付により建立された。梅処は明治42年にその生涯を閉じるまで東行の菩提を弔った。高杉晋作（東行）の墓の近くには、伊藤博文が高杉を顕彰した大きな碑があり、「動けば雷電の如く、発すれば風雨の如し」と刻まれている。早春は梅、初夏は菖蒲、秋は紅葉の名所として知られている。近くには、温泉施設「吉田温泉晋作の湯」がある。

また下関市立東行記念館があり、4月9日～6月2日に企画展「高杉晋作と奇兵隊」を開催。高杉晋作や奇兵隊にゆかりのある資料や写真を展示する。記念館の入場料は、大人３００円（団体、学生割引あり）、大学生２００円、18歳以下無料。休館日は毎週月曜日（祝日の場合は開館）、祝日の翌日、年末年始（12月28日～1月4日）。

長府地区のゆかりの地

功山寺

長府にある功山寺は、曹洞宗の寺で、長府毛利家の菩提寺。仏殿が、善福院釈迦堂とともに鎌倉時代の禅宗様建築を代表するもので、国宝に指定されている。近くには、下関市立長府博物館があり、長府毛利家や明治維新関連のものを収蔵する。高杉晋作が元治元年12月15日（１８６５年1月12日）に起した功山寺挙兵は、長州藩俗論派打倒のためのクーデター。回天義挙ともいう。

下関市立長府博物館では「幕末長州攘夷戦争展」を開催。同博物館が所蔵する下関戦争に関する史料を一挙公開。期間中の来館者には下関戦争に関わる絵葉書を1枚プレゼント。期間は6月4日～9月1日。

功山寺では、国宝仏殿開扉と秘宝展を開催。普段みることのできない功山寺仏殿内部と南北朝～室町時代に作られた文化財の数々が公開される。期間は14年までの3月15日～6月15日と9月15日～12月15日まで。

功山寺の高杉晋作像

萩の高杉晋作ゆかりの地

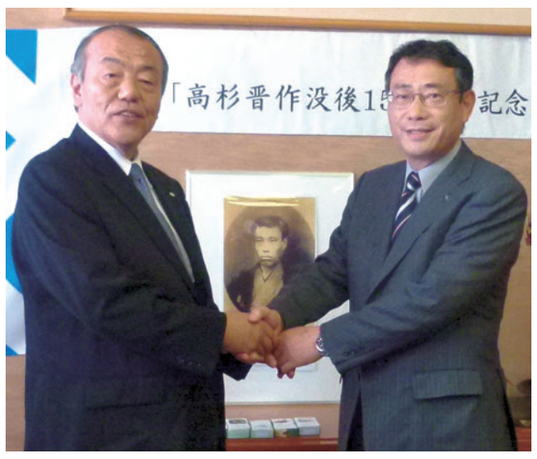
博物館

萩市の萩博物館には、開館当初から高杉晋作資料室が設置されている。萩市は、江戸時代に、毛利氏が治める長州藩の本拠地として有名である。萩博物館は『萩まちじゅう博物館』の中核施設として、萩開府４００年の記念日である２００４年11月11日に開館。高杉晋作資料室には、高杉晋作の産着から最晩年の書などが展示されている。高杉晋作は萩に生まれ、藩校明倫館に通い、19歳で松下村塾に入り、吉田松陰から様々なことを学んだ。新時代を到来の前に結核のため享年29（数え年）で亡くなった。

高杉晋作誕生地

高杉晋作の産湯を使った屋敷跡が萩市内に残っている。高杉晋作誕生地（萩市南古萩町23）は敷地内に、晋作ゆかりの品や東行と号した句碑、産湯の井戸などがある。他にも萩市内には、高杉晋作が通った旧藩校明倫館や松下村塾などが残っている。

高杉晋作誕生地



野村興兒・萩市長　中尾友昭・下関市長

青春交響の搭

東行庵

桜山神社招魂場

高杉晋作終焉の地

下関観光トピックス

イルミネーション・ふくちょうちん・着ぐるみ寸劇・女子旅・歴女旅・グルメイベント・新アミューズメント

イルミネーション水族館イメージ

灯りのまちイルミネーション

水族館

13年七夕の時期に下関市関門海峡沿いにイルミネーションでペンギン、イルカなど海の生き物のモニュメントを設置。カモンワーフからは全てのイルミネーションが一望できる。恋人灯台は「願いをかなえるスターライトロード」として、光のアーチが設置される。期間は6月8日～7月7日まで。

ふくちょうちんまつり

ふくの季節到来にあわせてふくちょうちんまつりを開催。ふくに見立てたかわいらしいオリジナル提灯「ふくちょうちん」が下関市内各所に装飾される。唐戸地区などの主要エリアに大型のふくちょうちんモニュメントを設置。スタンプラリーで設置場所を回遊し、モニュメントをコンテスト形式で投票。抽選でふくの特産品が当たる。

また、「おもしろふく顔コンテスト」も開催。ふくの顔真似をした楽しい写真を募集し、会場に掲示。コンテストを行い、賞が進呈される。期間は9月29日～10月末まで。

武蔵と小次郎の決闘の寸劇着ぐるみバージョン

人気の観光寸劇「武蔵と小次郎決闘寸劇」を着ぐるみで実施。上演場所は、唐戸市場横カモンワーフ海側ステージ。期間は10月5日～11月24日の土日祝。観光ボランティアによるリアルな決闘寸劇も12年から継続して実施。3月23日～6月23日の土、日、祝（5月3日、4日は除く）。

女子旅のススメin下関

主要観光地、食事処、お土産物屋などの情報が掲載された女子旅専用冊子を制作中。手帳サイズで持ち運びにも便利。女性スタッフがおすすめするプランなので、女性の人りやすいお店、トイレマップなど細やかなニーズに対応。参加費無料のスタンプラリーに参加すると豪華な賞品が抽選であたる。期間は4月～6月。

幕末タイムトラベルクイズラリー ～歴史散策下関道中～

歴史好きの「歴女」の為の企画。下関の歴史をラリー形式で楽しみながら知ることができる。幕末の志士高杉晋作にまつわる史跡や奇兵隊の足跡をたどる。10月、11月の日曜日には「歴女」限定で着付け体験を開催。また、クイズラリーの正解者は、抽選で14年10月の土曜日に開催される舞台イベントに特別出演ができる体験付き宿泊がプレゼントされる。期間は9月～11月。

カモンワーフでの最新イベント

カモンワーフの10店舗で、食のイベントを2つ開催する。

「丼-1GP」は、各店舗で期間中何杯、丼モノを売るかを競う対決。期間中しか食べられないお得な丼や通常よりネタがたくさんのった海鮮丼など が楽しめる。期間は7月1日～9月30日。

「本場下関プライドふくまつり！」は、本場下関の名に恥じない価格と内容をテーマに各店舗がふく料理を提供。専用パンフレットに付いている応募用紙に、利用店舗のスタンプをおして応募すると抽選でふく刺しなどがあたる。期間は11月1日～2月28日。

下関の新アミューズメント施設

13年秋、海響館横の関門海峡沿いに待望の新施設が登場。関門海峡を満喫できるアミューズメント施設。カード迷路やメリーゴーランド、空中ブランコなどが楽しめる。大観覧車もできる。

その他イベント

厳流島トレジャーハンティング（7月～9月開催）

関門海峡遊覧クルージング（7・8月の日・祝）

着ぐるみ決闘

ふくちょうちんまつりのイメージ

新アミューズメントのイメージ

北九州市漫画ミュージアム

北九州市漫画ミュージアム

北九州市漫画ミュージアムが昨年8月3日にＪＲ小倉駅新幹線口の「あるあるＣｉｔｙ」内にオープンした。北九州市は松本零士氏や、わたせせいぞう氏など日本を代表する著名な漫画家を多く輩出している。小倉には、西日本総合展示場があり、ここでは、同人誌の即売会など漫画やアニメの関連のイベントが年間を通じて開催されている。

「あるあるＣｉｔｙ」には様々な漫画関連の店舗が入居。施設全体がサブカルチャーによる統一コンセプトビルとなっており、全国へ漫画文化を発信する拠点となっている。館内の常設展示ゾーンは松本零士氏をはじめ北九州市ゆかりの漫画家を紹介するほか、漫画の歴史やしくみについて紹介。

松本零士作品の人気キャラクターであるキャプテンハーロック記念撮影用フィギュアのほか、メーテルや森雪のフィギュアも展示している。

大画面のタッチパネルやキネクトシステムを採用し、北九州市関連の漫画情報や観光地について学べ、漫画のキャラクターのなりきりポーズに挑戦できる。

閲覧は、懐かしの名作から最近のヒット作まで数万冊の漫画単行本を読むことができる。初心者向けの体験教室からプロ志向の作画指導まで行われており、リピーターも多い。企画展示室では、全国巡回の大規模展を含めた展覧会を開催している。

常設展観覧料は一般４００円、中高生２００円、小学生１００円、小学生未満無料。年間パスは2千円。

下関のグルメ

ふくとくじら

下関といえば全国的に有名な「ふぐ」料理。下関ではふぐのことを「ふく」と呼ぶ。「ふく刺し」「ふくのから揚げ」など。ＪＲ西日本が発売している日帰り旅行商品の駅プラン「関門ふくフク三昧」がロングセラー商品となっている。もうひとつ下関を代表するのがくじら。下関市は近代捕鯨発祥地。戦前、戦後を通じ、国内有数のかつての南氷洋捕鯨基地として地位を築いていた。

長州くじら亭では、ふぐとくじらの両方本格的な料理を楽しめる。赤身、尾の身、さえずり、うねなどを刺身、竜田揚や鍋料理などで提供してくれる。

ふくとくじらのコース料理（長州くじら亭）

優作さんが愛したちゃんぽん

人気俳優だった故松田優作さんは下関出身。帰郷しては食べに来ていたのが下関の歓楽街にある食堂「大阪屋」（山口県下関市竹崎町３-１３-２）のちゃんぽん。ちゃんぽんは、カツオ出汁で野菜と練り物、とくに大盛のもやしが特徴。麺はちゃんぽん麺で、コショウが効いたあっさりした味付け。メニューは、ちゃんぽん（５３０円）、大きないなりずし（１７０円）。営業時間は、月曜から土曜までの11時～15時。

優作さんが愛したちゃんぽん

しものせき観光キャンペーン実行委員会
（下関市観光政策課）
山口県下関市田中町５-６
TEL：083-231-1350
http://kanko.shimonoseki.ne.jp/
※旅行関連業者対象コンテンツを公開中